

河内音頭（大阪府）

淀川の内にあるところから称されたといわれる。

河内は、近江と共に昔から盆踊りのふる里として知られている。大正 14 年(1586)江州の犬上郡豊郷村千樹寺に発祥した江州音頭が、間もなく河内に伝播して河内音頭となり、今日まで約 280 年間における歌詞・曲調・踊りの変遷は、江州音頭よりも河内音頭の方が複雑で北河内・中河内・南河内の 3 郡がそれぞれ異なる系統をもつに至ったが、中河内の八尾市のものが最も古い形を伝えている。河内音頭普及のおもな功労者として、北河内では慶応年間の歌亀や昭和初期の鍛冶市、中河内では明治末期の千代鶴や鉄砲光雄、南河内では明治中期の岩井梅吉などが知られている。

八尾市西郷にある常光寺の地蔵尊は、八尾地蔵または西郷地蔵と称せられ、狂言にも採り上げられたほど有名である。南北朝時代、常光寺門前で風雨にさらされていた地蔵尊安置と戦火で焼失した本堂再建のため又五郎太夫が本堂と梵鐘を寄進し、嘉慶 2 年(1388)本堂落慶祝を兼ねて地蔵尊供養の踊りが催された。これが常光寺盆踊りとなって今も行われており、中でも「地蔵盆踊り唄」は古い河内音頭のままを伝えているとのことである。踊りは、半黒・平などもあったが、現在、まめかち・流し(念仏踊り系)・六郷の 3 種が伝わっている。半男は半九郎節または津村節が正称。貞享から宝永にかけて歌われた大阪音頭の一つ。口説の元祖ともいべき有名な兵庫口説が宝永初期にこの半九郎節から生じたのであって、つい最近まで常光寺で踊られていたらしい。ここに紹介する踊りは、戦前は草加踊りとして踊っていたが、終戦後、踊りが少し変わり、名も「まめかち」と改められたものである。まめかちとは豆穀を叩きながら実を落すの意である。因みに、鉄砲氏は昭和 30 年頃から、光三郎と改名し、浪曲を採り入れた河内音頭で有名にはなったが、民踊の大衆性という点で河内音頭の本流から外れてしまった。

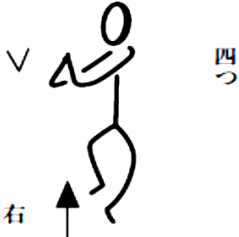

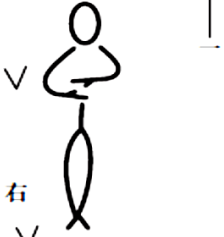
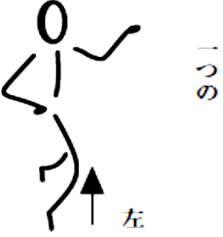
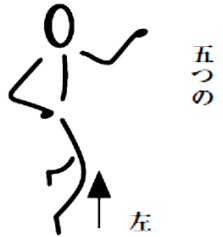
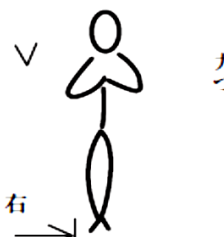
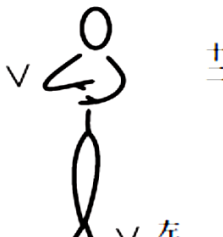
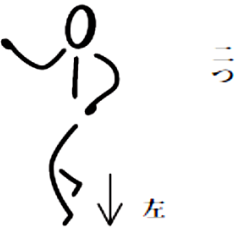

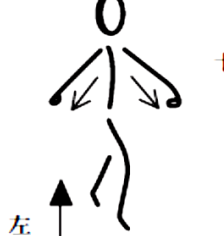
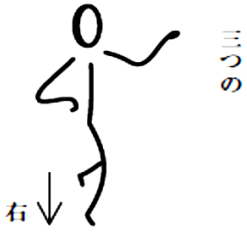
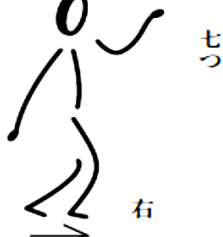
河内音頭の歌詞は踊り口説が圧倒的に多い。口説き踊りと祭文踊りの特徴は、第 1 歩を踏み出すとき腰に力をいれて膝を低くしながら両手を後方へ振る点にある。この動作は踊り口説と同時に京都で始まったものと思われる。奈良県吉野郡地方の祭文踊りの唄にも「祭文踊りというものはナ、手拍子・足拍子・腰の拍子三拍子揃えて踊るなら、見ているどなたも嬉しかろ」とあり、江州音頭は今でも強く膝を曲げるが、河内音頭はあまり曲げなくなっている。なお今東光氏は「こつまなんきん」「東光太平記」等の小説中に河内音頭を描写しており、日本フォークダンス連盟が全国普及のために河内音頭をとりあげるに当って、同氏にレコードの監修を仰いだ。

河内音頭

- ◆ 隊形：輪おどり。
 - ◆ 進行方向：時計まわり(円内向き→進行方向→円内向き)。
 - ◆ 踊り始め：円内向きで4呼間聞いて踊り始める。
 - ◆ 踊り方：両手を軽く握り、肘をゆるめ、自然に前後を振るようにする。
- ① 一つの
左足を後ろに引き(軽く)左手前、右手後ろに振る。図(1)
 - ② 二つ
引いた左足を前に踏み、両手振り返す。図(2)
 - ③ 三つ
右足を前に軽く出し、両手振り返す。図(3)
 - ④ 四つ
右足を引き、右肩前で“チョン”と手拍子をする。図(4)
 - ⑤ 五つ
左足を軽く引き、両手は①と同様に行う(左手前、右手後)。図(5)
 - ⑥ 六つ~八つ
進行方向に左足から両手振り返えながら3歩進むが、3歩目の左足先を円内向きになれるように踏む。図(6)~(8)
 - ⑦ 九つ
左足に右足を揃え、円内を向き胸前で“チョン”と手拍子をする。図(9)
 - ⑧ 十
左足を引き、両手肘をゆるめて山開きのように左右にかまえる。図(10)
 - ⑨ 十一・十二
引いた左足から右足に揃えるように3回足踏みをしながらか、3回手拍子(左足の時は、左手掌をあげ、右手上で肘をはって手拍子)同様に右、左と交互に行う。図(11)~(13)

以上をくり返す。

- ◆ 留意点：両手を軽く握り、肘をゆるめ、自然に前後に振りながら、はずんで踊る。

<p>輪おどり</p>	<p>(4) 四つ</p> 	<p>(8) 八つ</p> 	<p>(12) 十二</p> 
<p>(1) 一</p> 	<p>(5) 五つ</p> 	<p>(9) 九つ</p> 	<p>(13) 十三</p> 
<p>(2) 二</p> 	<p>(6) 六つ</p> 	<p>(10) 十</p> 	<p>以上(1)からくり返す。</p>
<p>(3) 三</p> 	<p>(7) 七つ</p> 	<p>(11) 十一</p> 